

◆ 2020 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会

23A-45

代表者：代表理事 浅野 正敏

URL : <http://www.tenranzan.net/>

1. 活動が必要とされた状況

新型コロナウイルス感染が拡大し、自然観察会やエコツアー等のイベントができなくなったが、自然の中で遊ぶことは、特に子どもたちの健全な育成に欠かせないのであるため、環境を整えて実施可能な状態にすることが必要だった。



このため、参加者・スタッフの体温測定、アルコール除菌などを徹底して、実施した。また、活動拠点の谷津田の小屋の雨漏りを防止するとともに、屋根にトプライト（天窗）を設置して明るくし、設備の清潔性を保った。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

○8月：感染対策ガイドラインの作成

○9月13日：秋の草花観察（参加者7人、スタッフ5人）

○9月27日、10月24日：エコツアー準備（スタッフ延べ9人）

○10月25日：かい掘りエコツアー（参加者9人、スタッフ7人） 池のかい掘り・生き物観察、石窯ピザ調理・提供

○10月30日、11月1日、2日、3日、4日、8日、22日：小屋修繕（スタッフ延べ28人）

○12月13日：小屋修繕完成（スタッフ4人）

* 予定していたイベント・里山感謝デーはコロナ感染拡大により中止

○1月11日：冬の自然観察（参加者8人、スタッフ2人）



3. 活動の成果

イベントは、参加者を10人以下に絞るとともに、独自に作成した感染対策ガイドラインに沿って、体温測定、アルコール除菌、マスク着用、連絡体制確保等により、安心感を持って実施できるようにした。

小屋は、資材の整理整頓を図るとともに、屋根・デッキを修繕し、雨漏りを止め、天窗を付けたことにより、明るく衛生的な環境を確保し、資材の衛生的な保管ができるようになった。小屋の修繕は、材料費のみの出費で、作業はスタッフのボランティアにより完了できたことで、経費の節約を図ることができた。



4. 今後に残された課題

- ・ 小屋の横にある石窯は12年前に設置したもので、ピザ、パン等を焼くことができ、楽しみながら実施する里山管理を支えてきたが、修繕を必要とするほか、テーブルを衛生的なものに取り替える必要がある。
- ・ イベント時に使用する水は、ポリタンクに入れて持参しているが、谷津の湧水を利用できるようにできれば、資材準備が楽になるため、井戸を掘ることを検討する。